

第54回(令和元年)優秀畜産技術者賞ならびに 令和元年度 農林水産省生産局長賞受賞者業績概要のご紹介

本誌2020年4月号にて優秀畜産技術者表彰の受賞者の決定についてお知らせいたしました。6月に開催を予定していた表彰式は新型コロナウイルス感染拡大防止対策として開催を中止いたしました。そこで、紙面上にて受賞者の方々の功績について概要をご紹介します。

受賞者のみなさまの益々のご活躍をお祈り申し上げます。おめでとうございます。(事務局)

☆令和元年度農林水産省生産局長賞・優秀畜産技術者表彰特別賞受賞

松澤 保 様 福島県庁 農業担い手課 主任主査

東日本大震災・原発事故当時から放射性物質対策技術の研究や行政に深く関わり、牧草地・飼料畑の除染技術、牧草・飼料作物への放射性セシウム吸収抑制対策、安全な放牧再開技術等の営農再開に成果を上げてきた。その成果は確実に現地に定着し福島県における畜産の復興・再生を可能にした。

☆優秀畜産技術者表彰特別賞受賞

糟谷 広高 様 北海道立総合研究機構 農業研究本部 畜産試験場 肉牛グループ 主査

牛の飼養研究に取り組み、乳用育成牛および肉用育成・肥育牛へのサイレージ給与法を明らかにした。さらに、乳検情報を乳牛の繁殖・飼養管理に活用するため、乳中尿素窒素の基準値を示すとともに、乳牛群の繁殖成績を客観的な数値として評価する手法を開発した。

安部 亜津子 様 鳥根県畜産技術センター 生産技術部 肉用牛科長

これまで黒毛和種牛の生産性向上に関する研究に従事し、シバ等の在来野草の飼料化に向けた特性評価や、黒毛和種の産肉能力の改良に利用可能なDNAマーカーの開発を行った。また、去勢牛の短期肥育の成績向上を目指し、飼料給与技術の面から検討を行い、タンパク質強化や発酵TMR給与等の有効性を示した。

今井 昭 様 広島県立総合技術研究所 畜産技術センター 育種繁殖研究部 副部長

広島県における県産和牛短期増頭ツールとして「黒毛和種からの経腔採卵・体外受精」の技術基盤を整備し、登記可能な黒毛和種体外受精胚を年間2,000胚供給可能な体制を構築、ホルスタイン種を借り腹とした黒毛和種短期増頭施策に大きく貢献し着実な増頭を実現している。

大竹 正剛 様 静岡県畜産技術研究所 中小家畜研究センター 養豚・養鶏科

体細胞クローンブタの作出効率向上に貢献したほか、実験用ミニブタの繁殖工学研究により病態形質の安定化に成功するなど、医学、野生動物研究等、異分野との共同研究に積極的に取り組みながら獣医衛生・畜産研究分野の拡大に寄与してきた。

佐藤 亘 様 大分県農林水産研究指導センター 畜産研究部 肉用牛繁殖酪農チーム 主幹研究員

種雄牛造成等の取り組みにおいて優れた成果をあげており、ゲノム育種価評価を活用した候補種雄牛の選抜やFGD3遺伝子の大分県黒毛和種集団における遺伝子型判定等、常に最新の知見を業務に活用しながら、同県の肉用牛育種改良に大きく貢献している。

田島 茂行 様 愛知県農業総合試験場 畜産研究部 主任研究員

愛知県の豚肉生産で活用する大ヨークシャー種系統について、2形質の繁殖能力(産子数と離乳時一腹総体重)を同時に改良した「アイリスW2」を開発した。また、ブタガラス化胚の移植で、これまでよりも高率にガラス化胚由来の子豚を獲得できる「非外科的追い移植」技術を開発した。

西井 真理 様 京都府 農村振興課 野生鳥獣係 亀岡駐在

食品衛生上重要視される食中毒菌カンピロバクターの鶏への感染防止策として、粉米60%を混合した配合飼料の給与により感染抑制効果があることを初めて見出し、実験室内での立証とメカニズムの解明を行った。さらにプロイラー農場で感染抑制効果を実証するとともに、米生産者家と飼料メーカーおよび食鳥処理業者とのマッチング体制を構築した。

福見 善之 様 徳島県家畜保健衛生所 阿南支所 支所長

受精卵移植技術に関する試験研究に取り組んだほか、省力管理機器を実装したスマート畜舎の整備、優良繁殖和牛雌牛の増頭、高能力産子の増産並びに肥育技術の改良、和牛の雄側からの改良などの、徳島県有種雄牛の造成事業や肉の美味しさを重視した改良に取り組むなど、同県内の家畜改良増殖および和牛増産に大いに貢献した。

水木 剛 様 岡山県農林水産総合センター 畜産研究所 経営技術研究室 専門研究員

岡山県内の畜産環境分野の第一人者として、堆肥の簡易診断技術を開発するとともに、ペレット化や生ゴミと畜ふんとの混合堆肥化の技術開発に貢献した。また、新規格「混合堆肥複合肥料」の開発を民間企業等と行い実用化を図り、同県内での流通販売が開始されるなど、堆肥を活用した循環型社会の構築に貢献している。